

広報

ふじ

NO. 174

50.2.5 発行

発行・富士市役所
富士市永田61-1

編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】



造園技能師の一級・二級を旨として頑張る庭師（二月二十一日～二十七日まで、農協会館広場で検定実技試験）

国一 柏原で騒音と排ガス

国道1号線の1日の交通量は24.153台(昨年10月建設省調査)、このうち大型が6.290台、小型が17.863台となつています。このように大量の交通量をさばっている1号線も、元吉原地区の柏原から松町までの約2.15kmは、う回路がまったくありません。沿線住民はこの区間を生地獄街道と呼ぶほど、昼夜を問わず交通公害に悩まされてい

ます。

そこで、地元の人達から騒音と排気ガスの状態がどの程度か調べてほしいという要請があり、市も資料づくりのために、昨年12月23日から1月13日まで、あお空号による騒音と排気ガスの調査を行いました。この調査結果がまとまりましたので、そのあらましをお知らせいたします。

騒音の環境基準を 15~21ホン上回る

	昼間	朝・夕	夜間
環境基準	55ホン	50ホン	45ホン
A測点	70ホン	66ホン	60ホン
B測点	72ホン	69ホン	66ホン

いずれも環境基準より15~21ホン高くなっています。

調査は12月23日から1月5日まで東田子の浦駅前の六王子神社横(A地点)、1月6日から13日まで昭和放水路西側の杉山ナプキン前(B地点)で行いました。

まず交通騒音問題は、交通量の増加と車両の大型化などにより、ますます深刻化しています。両測点の平日騒音測定値は、昼間で平均73~74ホン、朝夕、夜間で70ホン前後でしたが、最高は80ホンをオーバーしています。また、1日の騒音変化を見ると昼間は上端値と下端値の差はあま

りありませんが、夜間になると小型車両の通行が少なくなるため、その差は広がります。しかし、夜間でも大型車両の通行があるために上端値は昼間とほとんど変わりません。

年末年始の場合は、全体的に通行車両が減少し、なかでも大型車両がほとんどなかったため、昼間の平均値60ホン台、夜間50ホン台と普段よりかなり低くなっています。

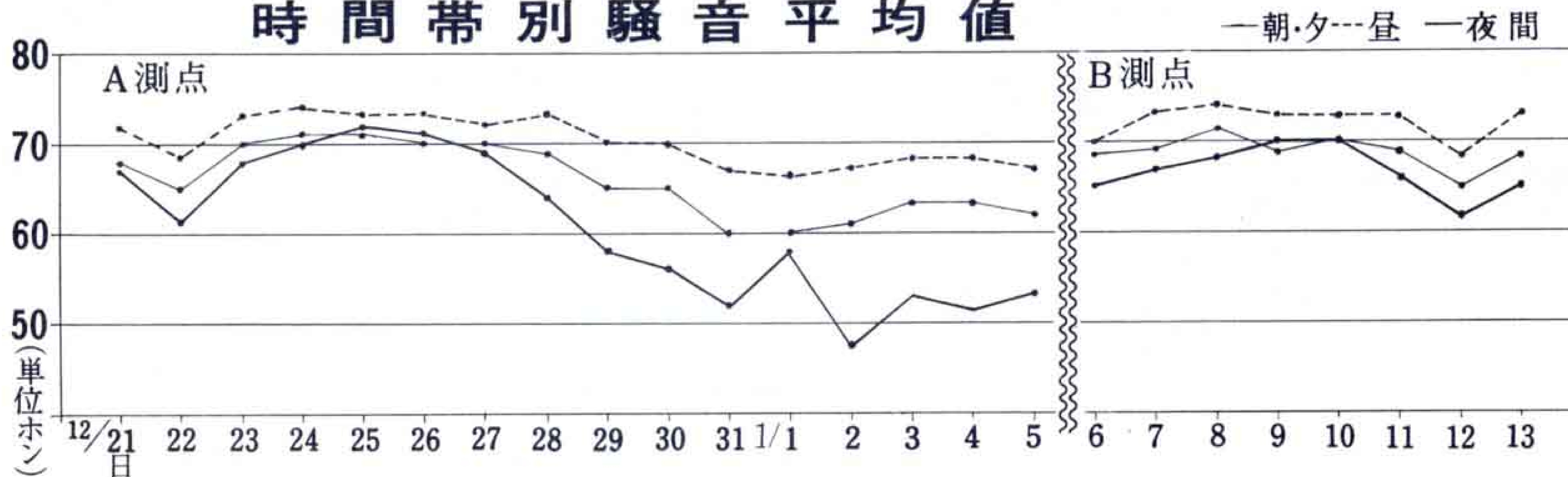
なお、2測点の平均値を環境基準(道路に面する地域)と比較してみると

.....ホンとは.....

騒音の大きさをはかる単位として「ホン」(又はdB)を使います。これは音の音圧レベルを耳の感覚に合うよう補正したもので、騒音レベルのことです。

ホンは、音の大きさのレベル(phon)とまぎらわしいのですが、日本でこの呼び方がよく知られているため、騒音計で測定した値にホンを使っています。

時間帯別騒音平均値



調査

人体に悪影響をおよぼす排気ガスの状態がどの程度か調べるため、排気ガスを中心に大気環境測定を行いました。測定は騒音と同じようにA地点とB地点で、二酸化いおう、浮遊粒子状物質、一酸化窒素、一酸化炭素の5物質を対象にしました

交差点に近い所ほど高濃度

年末年始を別にして両地点を比較すると、一酸化窒素、二酸化窒素、浮遊粒子物質などは、A地点の濃度が高く、なかでも一酸化窒素に著しく表われています。これは、A地点が交差点から50mほどしか離れていない場所であったことと、B地点での測定期間中3日間強い風が吹き、局地汚染である自動車排ガスが拡散されたためと考えられます。

また、年末年始は物質により多少の差はありますが、全般的に濃度は低く、交通量の減少特に(大型車両)、工場の一斉休業による大気の大気環境汚染濃度の低減が認められました。それでは、5物質のうち交通量との比例関係が強い、一酸化窒素と一酸化炭素の測定結果、汚染特性などをあげてみます。

また、年末年始は物質により多少の差はありますが、全般的に濃度は低く、交通量の減少特に(大型車両)、工場の一斉休業による大気の大気環境汚染濃度の低減が認められました。それでは、5物質のうち交通量との比例関係が強い、一酸化窒素と一酸化炭素の測定結果、汚染特性などをあげてみます。



【測定準備を行う公害課職員＝公害監視測定車あお空号＝】

減が認められました。それでは、5物質のうち交通量との比例関係が強い、一酸化窒素と一酸化炭素の測定結果、汚染特性などをあげてみます。

一酸化窒素 朝夕の2回にわたって 濃度のピークが

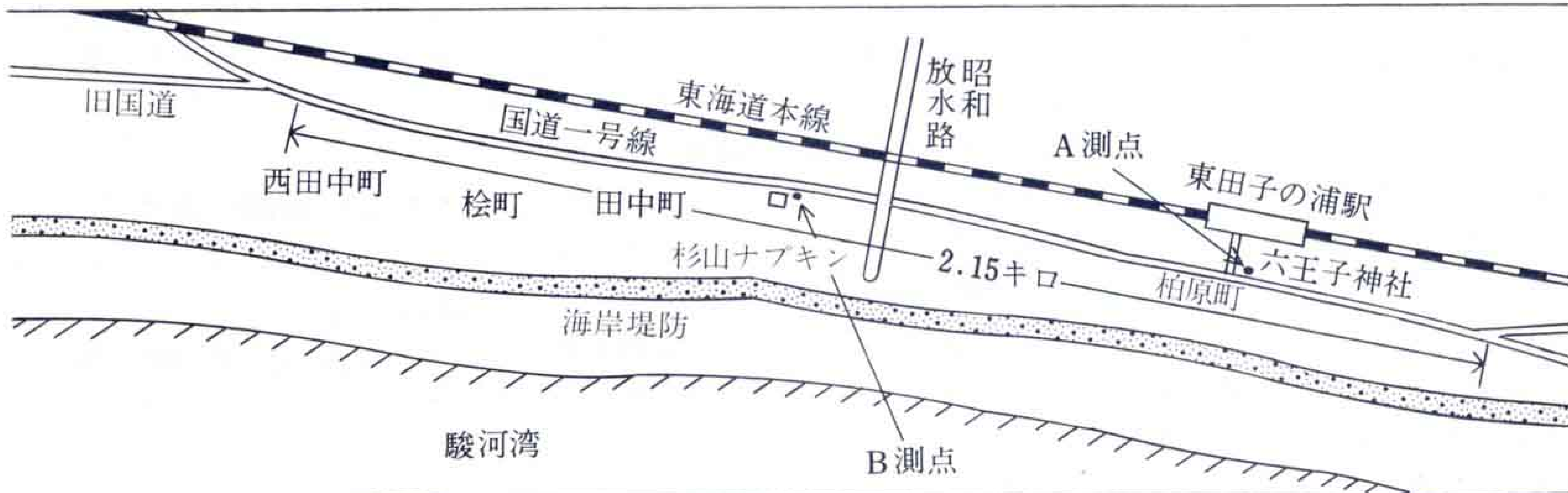
一酸化窒素は1時間値の最高値が0.555 PPMを記録し、1日平均値でも正月を除いて0.2 PPM以上の日が多く、きわめて高濃度といえます。交通量の少ない通常的生活環境では0.02 PPM程度とみられていることからしても、交通量の影響が出ています。

B地点の測量で風の強かった3日間は0.2 PPM前後と、正月並みに

低濃度となっています。これは、排気ガスが風で拡散されやすいためと考えられます、また、時刻別にみても朝夕の通勤時間に交通量が多くなるので、濃度のピークがみられます。

一酸化炭素の時刻別平均値は夜間が2 PPM前後、朝夕のラッシュ時5 PPM前後、昼間は3~4 PPMとなっています。したがって、一酸化炭素は交通量との比例関係が最も強いのではないかと推察されます。つまり、平常時では朝夕のラッシュ時に当る午前8時と午後6時の2回、濃度が高くなっています。年末年始にはこのようなピークが全く見られないことからもうかがえます。

なお、環境基準は連続8時間の平均値が20 PPM以下、24時間の平均値が10 PPM以下ですから、両測点とも全日数基準内にありました。



土地の有効利用をはかる

国土利用計画法スタート

国土利用計画法が昨年12月24日施行されました。この法律は、土地の有効的な利用、地価の値上がり防止、遊休地

の活用などをねらいにしています。これによって、土地の取引に新たな許可や届出が必要になりました。

地価の値上がり防止 など3本柱で

国土利用計画法は、国土を計画的に利用していただくために必要な手段を定めたもので、3本の柱から成っています。

①国土の計画的な利用を図るため
「国土利用計画」を定めるととも

に、土地利用の混乱を防ぎ、正しい土地の利用を進める「土地利用計画」を定めます。

②地価の値上がり防止と正しい利用を図るため、土地の取引を制限します。

③遊んでいる土地を公共福祉優先の立場から、積極的に活用するための手続きを定めています。

届出が必要となる 土地の取引

届出が必要なのは、市街化区域では2,000平方メートル以上、その他の都市計画区域では5,000平方メートル以上、都市計画区域以外のところでは10,000平方メートル以上の取引です。届出は市長を経由して県知事に出していただきます。

しかし、業者が多数の零細な土地所有者から用地を買収するとか、宅地を多数の人に分譲する場合のように、ひとつひとつの取引はこの基準以下であっても、まとめるとこの基準にあてはまるような場合には、届出が必要となります。

届出を受けた知事は、土地利用審査会で、価格や利用目的などを審査し、望ましくない場合は売買をする人たちに注意（勧告）します。

めは、昭和44年1月1日以後に取得した土地についても同じ取扱いをうけることとなります。

くわしいお問い合わせは

国土利用計画法のあらましをお知らせいたしました。くわしくお知りになりたい方は、環境部環境保全課（内線562～563）へお問い合わせください。



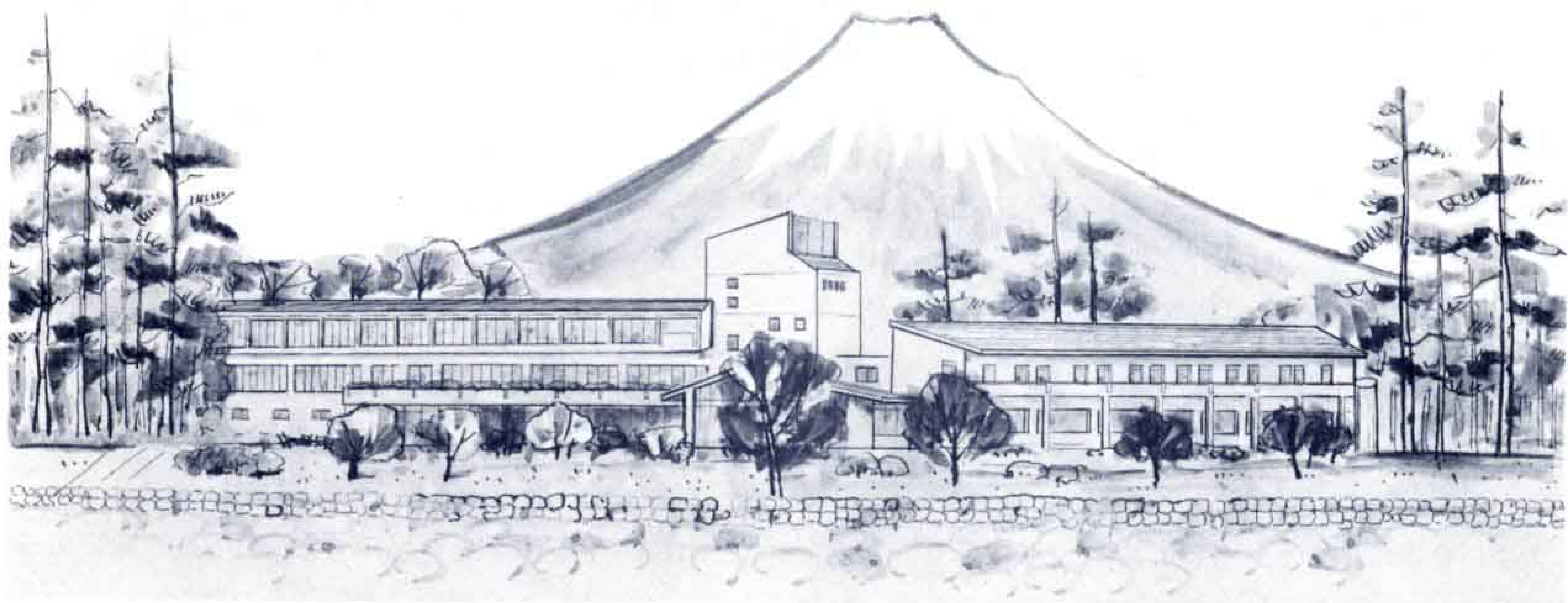
遊んでいる土地も 有効に利用する

この法律には、使われないで遊んでいる土地（遊休土地）について、正しく役立つように利用を進めることについての定めがあります。遊んでいる土地とは、許可または届出をして契約した土地で、その時点から3年以上たっても使われないでいる土地で、住民のために役立てるよう

に利用を進める必要がある土地をいいます。

このような土地がある場合、県知事は遊休土地と認め、土地所有者にその土地の利用方法などの計画を届出させます。そして、その土地の利用について必要な助言や勧告をします。勧告に従わないときには、県、市が所有者と協議してその土地を買収するなど土地の有効利用を図ります。

なお、この遊休土地についての定



勤労総合福祉センターを建設

雇用促進事業団と静岡県、富士市は、働らくみなさんに利用していただく「勤労総合福祉センター」を第1清掃工場の北に当たる大淵字荻ノ原に建設します。設計図もこのほどできあがり、3月工事入札、業者が決まりしだい工事に取りかかることになりました。完成は来年6月の予定で、工事は約14億円かかりますが、事業団、県、市が分担することになっています。

センターは鉄筋コンクリート造りの本館をはじめ、研修棟、職員宿舎などの施設ができます。また隣接地は、現在工事を進めている総合運動公園ですから、野球場やサッカー場、体育館なども将来できるので、宿泊、保養、スポーツ、研修など合わせて行えるようになります。

本館は3階建てで、延面積3010平方メートル。106名収容の宿泊室、結婚式場、宴会場、食堂、娯楽室などがあ

ります。

研修棟は2階建てで、延面積702平方メートル。150人収容の大研修室、50人収容の中研修室、40人収容の小研修室などがあります。

このような施設は県下ではじめて建設されますが、全国には建設中のものを含めると17カ所あり、勤労者のみなさんに利用されています。

市民交通障害保険料を360円に値下げ

市は交通事故でケガをした人たちを救済するために、昭和42年から「市民交通障害保険」を行っています。当初の保険料は年間360円でしたが、交通事故が増える一方で、保険金支払額も多くなったため、昭和45年度から掛金を年額480円に値上げしました。しかし、警察をはじめ関係者の努力の結果、増え続けた事故も3年程前からすこしづつ減ってきました。これにもない保険金の支払額も少なくなってきたため、4月1日（昭和

50年度分）から保険料を年間360円に値下げすることになりました。

なお、諸物価の値上がりなどにと



もない、昨年11月1日保険金支払額の改正を行いました。死亡の場合は50万円が80万円で、ケガをした場合の支払額もそれぞれ次のように増額しました。

死亡の場合……80万円（50万円）

後遺障害……50万円（30万円）

治療期間

6カ月以上… 12万円（9万円）

5～6カ月…… 9万円（7万5000円）

4～5カ月…… 7万円（6万円）

3～4カ月…… 5万円（4万5000円）

2～3カ月…… 3万円（3万円）

1～2カ月…… 2万円（2万円）

1週間～1カ月…1万円

1週間未満……5000円

カッコ内は旧保険金支払額

マラソン健康法

医者の不養生と良く言われますが私自身も以前は山登りやスキーにかなり熱を入れていました。しかし、仕事がいそがしくなると自分の健康作りなど考える間もなく過してきました。と

ころが3年程前から、時々運動不足による腰痛などの症状を覚えるようになりました。

これではいけないと思っていた矢先、友人にすすめられたのがマラソンです。それまで走るなど全く考えてもみませんでした。先ず第1に

整形外科医

田辺恵造

手軽にできる、第2に費用がかからないことが魅力ではじめ、いつのまにか3年近くになりました。今では同好の士も15人余を数え、毎朝6時20分に米の宮浅間神社に集って走っています

マラソンの効果は

人間の身体は年齢と共に老化してゆきますが、幸な事に筋肉だけは使えばそれだけ丈夫になるという性質

を持っています。従って中年になってからマラソンをはじめても練習さえ積み重ねれば10歳走る位の筋肉は充分ついてきます。次に歩く・走るという事はすべての運動の基本です。体重を支えて運ぶことで下肢の筋肉を、腕を振って走ることで上肢の筋肉を、軀幹のバランスをとることで腹筋・腰背筋をという具合に、身体の筋肉をバランス良く発達させる効果があります。

更に運動することによって体内の余分な糖分や脂肪分を費消させ血行を良くし、肥満の改善・心臓機能や肺機能の改善にもつながります。

以上簡単に私の体験からマラソンの効用についてのべましたが、最後にこれから始める方に一言

- ①各自の体力に応じた距離とスピードではじめる。
- ②短い距離でも毎日続け、徐々に距離をふやす。
- ③心臓病やその他走るのに支障のある病気があると思われる方は、必ず医師に相談してからはじめる。みなさん無理をしないで、マイペースで体力づくりを行ってください



【マラソンで体力づくりをする田辺氏(右から2人目)】

ひとこと

タバコの投げ捨てはやめて

先日、私の前を歩いている男の人が、吸いかけのタバコを道路わきに捨てて、そのまま行ってしまいました。その捨てたタバコを見ると、まだ火がついていて、そばには紙くず

がちらばって、ほかにも2~3本の吸いがらがありました。

すぐに踏み消しましたが、もし、そのタバコの火が紙くずから道路わきの枯れ草に燃え移り、近くの家にて

もと考ただけで恐しくなりました。火災原因の一番多いのがタバコの不始末と聞いたばかりだったので、何ともいえないいやな気分でした。タバコを吸う方みなさんをお願いします。歩きながら吸ってもけっこうですが、吸いがらだけは投げ捨てたりしないで、しっかり始末をしてください。(広見町・山本)

春の火災予防運動

2月28日~3月13日

生活の一部にしよう火の点検





バラのせん定講習会

「きれいなバラを咲かせるには、せん定から肥料、消毒など普段の手入が大切です」と話してくれたのは花の会副会長の米山務さん。米山さんは花づくりにかけては大ベテラン。今年もバラのせん定講習会に飛び回っています。

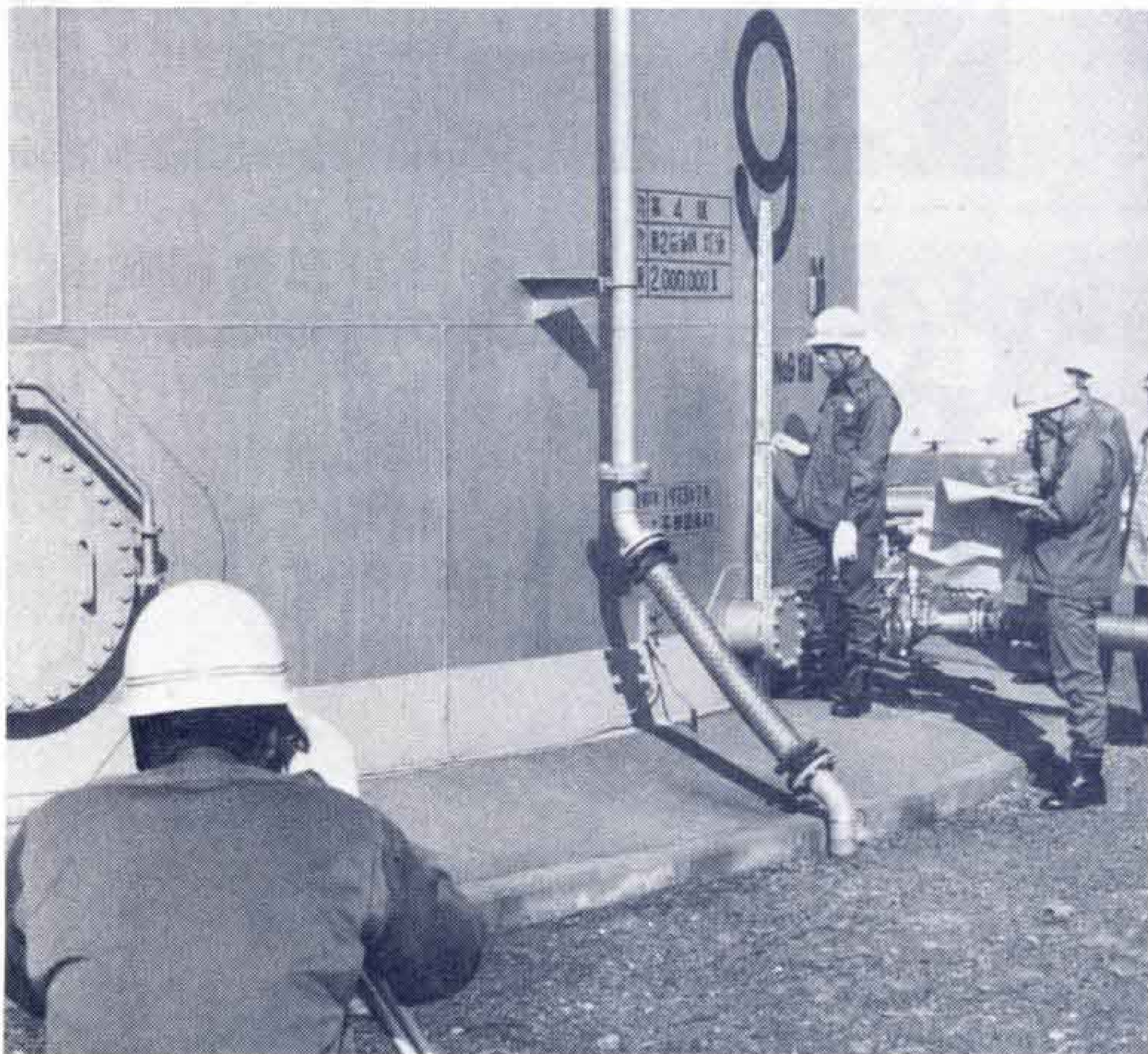
講習会の会場は町内や神社の花壇とあって、せん定もしてやれるし、勉強にもなるので一石二鳥。生徒の婦人たちもせん定バサミをにぎり、一生懸命指導を受けていました。



富士柔剣道場で

なぎなた講習会

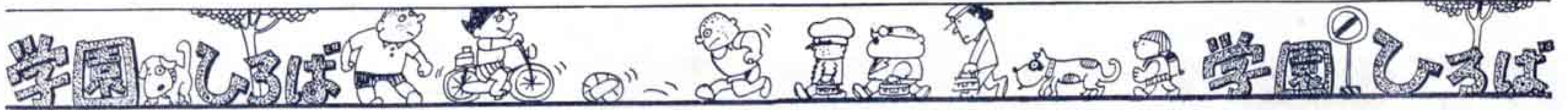
エイッ／＼／＼の掛声も勇ましく、なぎなたの講習会が、一月二十六日富士柔剣道場で開かれました。市内で講習会が開かれたのは今回がはじめて、戦前女学校で経験した婦人や女子中学生など男女三十人が参加しました。



屋外タンクを総点検

三菱石油水島製油所で、昨年12月重油タンクから5万キロリットルの重油が流出し、瀬戸内海一帯に大きな被害をもたらしました。そこで、同じ事故を2度と繰り返すなど全国で大型タンクの総点検が行われています。

市内にも田子の浦港の石油基地をはじめ、大手企業の中に大型タンクを持っている所があります。このため、市消防本部予防課は、1月27日から屋外タンクの保安点検をはじめました。点検は16事業所で1000キロリットル以上のタンク53基を対象に行っていますが、幸い今のところ異常カ所はありません。



市役所を見学して

須津小3年 鈴木照美

1月23日 市役所を見学しました。はじめに、階段を登っておく上に行きました。そこで、いろいろなしつもんをしたり、けしきを書いたりしました。わたしは、しつもんしたことや、教えてくれたことは、はじめて知ったことばかりで「市役所はたいへんだなあ」と思いました。

このあと、いろいろなへや

に行きました。一番心にのこったのは、コンピューターのある所です。コンピューターは、1と0しかわからないので女の人たちが、テープにあなをあけて、教えているそうです。富士市の家は何人いるかを調べたりするそうです。コンピューターは「ほんとうにテープのあなで、何人いるかわかるのかな。」と思いました。



市役所のコンピューター

須津小3年 前田英寿

給食の時間が楽しいな

…吉原小に食堂教室…

お兄さんやお姉さんといっしょに給食を食べて、なかよくしてもらおうと、吉原小学校に「食堂教室」ができました。食堂教室で給食をいっしょに食べるのは、6年生と1年生、5年生と2年生、4年生と3年生のひとクラスずつで、2日間上級生が下級生のパンやミルク、副食をくぼってやります。



なわとび運動認定会 に706人が参加

なわとび運動認定会を1月26日、市立体育館、富士第1小、原田小の3会場で行いました。参加者も小中学生やお父さんお母さんなど706人、このうち126人が特級に認定されました。

なお、次の認定会は2月23日と3月16日に、同じ会場で行います。なわとびのできる人なら、だれでも参加できますから、会場に午前9時までに来てください。